

入場無料

写真でみる一九六〇年代
— 植松明石の記録 —



臺灣 國立陽明交通大學客家文化學院 收藏

2026年

8 / 4火 ~ 8 / 16日

※月曜休館

開館時間：9:00~18:00（金・土は20:00まで）

沖縄県立博物館・美術館 エントランスホール

主催：沖縄県立博物館・美術館

共催：国立陽明交通大学客家文化学院

特別協力：都留文科大学

9 / 19土 ~ 9 / 20日

※開館時間：10:00~17:00

石垣市立図書館 1階展示室

9 / 28月 ~ 10 / 9金

※土日閉庁 開庁時間：8:30~17:15

※パネルを入れ替えて展示

竹富町役場 エントランスホール

主催：竹富町教育委員会

共催：国立陽明交通大学客家文化学院 特別協力：都留文科大学

トカラ列島の中之島、奄美から八重山諸島、そして台湾の客家の人々の宗教や親族研究を展開した植松明石・元跡見学園女子大学教授。その調査資料（撮影写真、調査ノート等）は、現在、台湾・国立陽明交通大学客家文化学院に「植松明石文庫」として収蔵されています。

植松明石教授は、主に1960年代から70年代にかけて新城島、黒島、石垣島、伊平屋島、伊是名島、加計呂麻島、中之島などで2000枚以上の写真を撮影しました。今回の展示は国立陽明交通客家文化学院がデジタル化に協力した約40枚の写真で構成しています。

パネル展は、8月に沖縄県立博物館・美術館で実施したのち、9月に石垣市立図書館・竹富町役場へと巡回します。



鹿児島県大島郡瀬戸内町実久
「籠を背負って杖をついて歩く女性と子どもたち」



沖縄県新城島上地
「サバニによる舟漕ぎ競争」



鹿児島県十島村中之島 「集落の風景」

※チラシ表写真 沖縄県新城島上地 来訪神ミロク（弥勒）

※写真は全て台湾・陽明交通大学 収蔵

関連イベント

講演会 沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室 80名 先着順

2026年8月4日（火）午後2時から4時

第一部 国立陽明交通大学客家文化学院院长・簡美玲教授「植松明石文庫典藏対台湾族群與人類学研究的意義」（台湾の諸民族と人類学研究的意義からみた植松明石文庫）

第二部 都留文科大学教授・山本芳美「植松明石による沖縄・奄美・中之島研究活動」と展示解説

講演会 石垣市立図書館 視聴覚室

2026年 9月19日（土）午後2時から

都留文科大学教授 山本芳美「民俗学者・植松明石と八重山・台湾調査」

お問合せ

沖縄県立博物館・美術館 担当：大城沙織（民俗担当学芸員）

TEL:098-851-5401

竹富町教育委員会社会文化課 担当：飯田泰彦（竹富町史編集係）

TEL:0980-87-6257

※展示の基盤となる研究は、以下の助成・研究費によっておこなわれました。

日本文化人類学会植松東アジア研究助成、公益財団法人日本台湾交流協会共同研究助成事業、植松明石記念一般社団法人日本民俗学会研究助成、都留文科大学学外研究奨励費